

LIM

初午

2月最初の午の日(2018年は2月7日)を「初午(はつうま)」といい、全国におよそ四万存在する稲荷神社の総本山、伏見稲荷大社の主祭神、五穀をつかさどる宇迦之御魂神が伊奈利山へ降臨した日とされています。

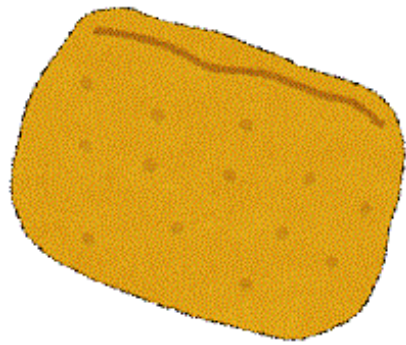
この日には初午祭が行われ、伏見稲荷大社に初午詣をするようになり、後に農村では五穀豊穣を、町中では商売繁盛を、漁村では大漁祈願を願うように発展してきたといわれています。

元々の原型はその年の豊作祈願とされ、それに稲荷信仰が結びついたものとされています。



●お稲荷さんを食べる「初午いなり」

日本各地では古くから蛇信仰が根強かったとされていますが、平安時代以降には狐を神の使いとする信仰が徐々に広まり、元々農業を祀っていた稲荷神社でも穀物を食い荒らすネズミを捕食したり、金色の尾が稲穂として例えられたことから、狐が神の使いになったと伝えられています。



この狐、好物が油揚げとされておりお供えも油揚げとされています。

このことから油揚げを用いた料理に「稲荷」の言葉が用いられるようになり、酢飯を包んだ稲荷寿司を初午の日に食べるようになったとされています。

また、宇迦之御魂神が五穀をつかさどっていることから稲荷寿司の形は米俵を模しているともいわれています。

また栃木県を中心とした北関東の一部では「しもつかれ」という煮物を食べる地域もあります。

○ 初午祭が行われる主な稲荷神社

- 伏見稲荷大社 (京都府)
- 豊川稲荷 (愛知県)
- 笠間稲荷 (茨城県)
- 王子稲荷 (東京都)
- 玉造稲荷 (大阪府)
- 太鼓谷稲荷神社 (島根県)
- 鹿児島神宮 (鹿児島県)
- 東伏見稲荷 (東京都)
- 祐徳稲荷 (佐賀県)

【参考】: <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%88%9D%E5%8D%88> 他



From the author... 節分と並び古くから民衆に根付いているこの時期の全国的な年中行事です。